



←今年もヤマボウシが実をつけた。真っ赤に熟れたヤマボウシが緑の葉のすきまからひょっこりと頭を出していると秋を感じる。

→波の穏やかだとはいえ立ち上がらないでほしいのに……、おじさん。

まだ九州は鹿児島県の沖合にあるというのに、台風十八号の影響で矢切はいま雨が降っている。したがって矢切の渡しは休みだ。

「まったく中国大陸のほうに進むかと思っていたら、いきなり向きを変えて日本列島縦断するって。まったく困ったやつだよ」

そういいながら舟頭さんは、台風にそなえて舟の係留場所を整えていた。

それが木曜日のことだった。ところが一夜明けた金曜日になっても予想進路は変わらなかったが、土曜日になると少し西にそれて矢切への影響は少なくなりそうだ。そのせいか、

「まったく、困ったやつだよなあ」

舟頭さんは、いきなり話題を北朝鮮問題に変えた。

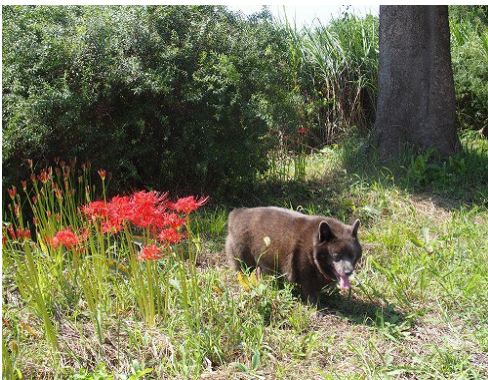
昨日、またしても金正恩がミサイルを発射した。日本列島の上空、襟裳岬を飛び越えて太平洋の沖合二千キロの洋上に落下した。

合計三千七百公里を飛んだといい、この距離だとグアム島周辺まで飛ばせるといっているのでテレビのコメンテーター



今週のクマ

→彼岸花の咲いた矢切の渡しへの道を散歩するクマ。赤い花が気になるようだ。



→今年は栗を見に行くのが1週間近く遅かった。ほとんど木から落ちて栗の実が頭を出していた。



たちが騒ぎ立てている。

「グアム島周辺には撃てやしないから心配することないよ。だってさ、グアム島方面に撃ったら即アメリカが撃ち落とすよ。そして北朝鮮を攻撃する口実ができるんで金正恩はアウトだろうしね」

いっぱしの解説者にでもなったかのようにこたえる私。

「そうかなあ、やるかなあ」

半信半疑の舟頭さん。

「どっちにしたって今は北朝鮮より台風十八号のほうが怖いよ、オレは……」

それはそうだろう。江戸川が氾濫すれば、どんなに天気が良くっても一週間近く矢切の渡しを休まなければならぬ。

柴又側にある栈橋と矢切側にある栈橋の二つを修理しないとイケなくなる。

舟頭さんにとってはこちらのほうが、さしせまった問題だ。刻々と報じられるテレビの気象予報をチェックする。

「まあ、あれだねえ。頭を取らないと北朝鮮問題は解決しないだろうね。頭って金正恩のことだよ」

また、私は解説者になっている。

身近にさしせまった二つの問題。目に見える分だけ台風のほうが心配だ。